

# 報告書

豊川共生ネットみらい

日時	2014年 9月20日(土) 13:30~17:30
場所	豊川市社会福祉会館ウイズ豊川 2階 和室
参加	14人(女性12人 男性2人) (支援者6人 被害者6人 カウンセラーになる等勉強中の方2人)
日程	13:30~ 講義(小休憩含む) 15:00~ 休憩 15:10~ 質疑応答・フリートーク 15:45~ 終わりのあいさつ 15:50~ 参加者は各自、話したい相手と思いのたけを話して帰る。 17:30 最後の参加者が帰る。終了

## 総括

【託児】託児を設けた。申込みした母親1名。しかしながら、子どもの体調が悪く当日キャンセルとなった。

【講師】DV被害者のカウンセリングを長年携わっている講師。講師が作成した資料(別紙参照)に沿って、講義をして下さり、「被害者の心情」「被害者支援のあり方」について十分理解できた。今後も、実際の現場で支援しているカウンセラーを講師として招きたい。

### 【企画・運営】

#### \*事前に講師と打合せ

- ・タイトル＝「出口が見えない…キラキラした自分に戻りたい」
- ・内容＝ジェンダーと心の回復を入れる。
- ・参加者同士のつながりができるようにする。

#### \*情宣活動

- ・ちらし作成 《別紙参照》
- ・広報とよかわ8月15日号に掲載 (下)
- ・とよかわボランティア市民活動センターだより9月1日号に掲載 (右)

今年も開催します

●愛知県健康福祉部出前講座～DVの理解講座～  
**出口が見えない…キラキラした自分に戻りたい!**

DV(ドメスティック・バイオレンス)…  
「親密な関係にあるパートナーからの暴力」  
○キラキラした自分に戻るには、どうすればいいの?  
○子どもが見たら、どんな影響があるの?  
○友達が、DVを受けて悩んでいる。どうすればいいの?  
DVの基礎知識を学び、資料を使い理解を深めます。

・日時 平成26年9月20日(土) 13:30～講師の話  
15:00～講師と懇談ティータイム

・場所 ウイズ豊川(豊川市社会福祉会館) ☎(0533)83-5211  
豊川市消防本部(諏訪)の北、ドラッグストアの向かい

・講師 加藤佐紀子さん フェミニストカウンセラー  
(一般財団法人名古屋YWCA所属)

・対象 興味ある方なら、どなたでも

・定員 30名

・参加費 無料

・託児 1人500円  
(申込みは9月5日(金)までにみらい事務局へ)

・企画 豊川共生ネットみらい

・後援 豊川市・豊川市教育委員会  
豊川市社会福祉協議会

・申込み 豊川共生ネットみらい事務局  
☎/FAX (0533) 87-2564  
✉ my-inoue@ams.odn.ne.jp  
当日も受け付けます。匿名での受付可。



- ・ ちらし掲示配布＝伊奈駅・国府駅・豊川駅の通路、豊川市全保育園48園、豊川市内全児童館12館、豊川市役所女子トイレ、豊川市保健センター、豊川市中央図書館、豊川市各庁舎、豊川市社会福祉会館等公共施設

\*緊張をほぐす工夫

- ・ 和室で長机を円形になるように配置した。
- ・ 玄関や会場前に案内板を置かず、スタッフが案内した。  
(男性参加可、飛び込み参加可なので、加害者を警戒するため)
- ・ 休憩時にお茶、質疑応答時にお茶とお菓子を配り、リラックスできるようにした。

\*講義の後に、「質疑応答・フリートーク」の時間の設置

- ・ 被害者が「離婚調停をしても、調停員にDVを理解されにくい。早く終わらせて、裁判したい。」という発言から、DV被害の深刻さを知り被害者の辛さに共感し、参加者から多くの発言があった。

\*参加者どうしのつながり

- ・ それぞれ、話したい人と話をした。  
(講師と被害者)(被害者と支援者)(被害者と被害者)(支援者と支援者)
- ・ 閉会後も、話し合いは続き、各自、話したい相手と思いのたけを話して帰った。

\*今後の課題

- ・ DVへの一般理解をさらに深めるためにこの講座を継続させる意義を痛感した。
- ・ 上記の状況から、被害者だけの場(例えば、自助グループ)と支援者向けの講座(例えば、自助グループのファシリテーター養成講座や、支援者としてのスキル講座)が必要だと実感した。
- ・ そのための資金確保が課題。愛知県健康福祉部から支援は本当にありがたい。

《別紙 決算報告参照》

\*豊川共生ネットみらい(みらいと表記)

- ・ DV被害者支援は、会員の安全を考え『mirai みらい』として行い、公にはしていない。
- ・ みらいがDV被害者支援を10年以上続けてきたからこそ、被害者の気持ちを酌み、その場の提供が出来たと考える。
- ・ そして、「被害者が自己を見つめ、次のステップに行くため」にその後の支援体制がみらいには、ある。《別紙 女性のための・・・のチラシ》
- ・ 参加した支援者が次の年にみらいスタッフになるなど、人と人のつながりの中で、被害者の支援をしている。人と人のつながりの大切さを痛感する。今後もこの体制を維持したい。

- ・ 2014年10月8日～ 女性のためのエンパワーメント連続5回講座
- ・ 11月22日～ 自分でするこころの手入れ連続2回講座
- ・ 12月14日 批判に対処するコツ講座
- ・ 2015年1月24日 ロジカルシンキング講座

- ・ 毎月第1金曜 女性だけの談話室
- ・ 毎月第1・3月曜 女性のための電話相談
- ・ 毎月第1金曜 女性のための面接相談

《別紙 A5版ちらし参照》

# アンケート集計

アンケートの回収・・・8枚（参加14人中）

Q1 女性・・・6  
男性・・・1  
無記入・・・1

Q2 1 詳しく知っていた・・・0  
2 だいたいの内容は知っていた・・・7  
3 言葉を聞いたことはあった・・・1  
4 知らなかった・・・0

Q3 1 理解できた・・・5  
2 まあまあ理解できた・・・3  
3 あまり理解できなかった・・・0  
4 まったく理解できなかった・・・0  
5 その他・・・0

Q4 1 参考になった・・・6  
2 まあまあ参考になった・・・2  
3 あまり参考にならなかった・・・0  
4 まったく参考にならなかった・・・0  
5 その他・・・0

Q5 4人の方の記載あり。

- ・ずっと講義で、話をきくの疲れた。
- ・どちらかと言うと、女性がDVを受けている話がメインだったので  
男の人が妻からおDVを受けている話が聞ける講座ができると思いました。
- ・DVは、それだけではすまない。いろいろな問題が出てくるのだと思いました。
- ・DV、別居、離婚・・・いろいろなケースがあり、大変だなと思いました。